



目次 contents

- P1 ■ 令和6年度県民の日記念式典
第56回シラコバト賞
- P2 ■ コバトンリサイクル募金
- P3 ■ 市町村コミュニティ協議会の
取組
- P4 ■ 会員紹介

令和6年度 県民の日記念式典



11月14日(木)に埼玉会館にて「令和6年度 県民の日記念式典」を開催しました。

式典では、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会長 大野 元裕 埼玉県知事から賞状、副賞が授与されました。他にも彩の国功労賞受賞者の表彰や埼玉県表彰規則による功労者の表彰、小中学生の作文コンクールの表彰も行われました。

第56回 シラコバト賞

日頃、身近なところで、住みよい地域社会の実現のために、多くの方々が積極的な活動を行っています。そうした活動を行う個人及び団体へシラコバト賞を贈呈し、その活動と功績を顕彰しています。

令和6年度の受賞者は、個人158、団体42の200件でした。

受賞者を代表して登壇していただいた4名の方を御紹介します

心のふれあいを深める活動

紙芝居ボランティア「大きなかぶ」(八潮市)

子育て支援施設や学童保育、高齢者施設などで幅広い年代を対象に紙芝居や歌、手遊び等の活動を行っています。



健やかな心身を育てる活動

桶川市民謡連盟(桶川市)

民謡を楽しむことを目的に、市内公共施設等のイベントにて発表、啓蒙をするほか、老人施設や学校にて体験・鑑賞も行っています。



住みよいふるさとをつくる活動

篠原 敏夫氏(東松山市)

スクールガードリーダーとして長年にわたり、地域・児童の安全のために毎日、登下校の指導、見守り活動を行っています。



郷土を知り、郷土を想う活動

長谷川 勉氏(深谷市)

地域に伝わる屋台囃子を次世代に継承するため、地域の子供たちを対象に屋台囃子の育成及び指導を長年にわたり行っています。



特集

コバトンリサイクル募金

～コバトンリサイクル募金に参加して、NPOの活動を応援してください!～

埼玉県では協力事業者である嵯峨野株式会社と協定を締結し、不要品で寄附ができる「コバトンリサイクル募金」を実施しています。

「コバトンリサイクル募金」とは、いらなくなった様々な品物を御提供いただき、その査定換金額を「埼玉県NPO基金」に寄附する取り組みです。

県は、埼玉県NPO基金を活用し、教育や福祉、まちづくりなど地域課題の解決に取り組むNPOの活動を支援しています。



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

取扱品目

リユースにつき、次の方が気持ちよく使用できるきれいなものをお送りください。



本・DVD・CD・ゲーム

本は原則ISBNコードあり、出版から10年位までのもの



切手・ハガキ・金券類



貴金属・ジュエリー

金・銀・プラチナ・宝石を含むもの



ブランド品・時計・万年筆

古くても、壊れていてもOK!



カメラ・レンズ



蒸留酒



トレカ・フィギュア・模型



グランドピアノ・ブライトンピアノ

宅配便での集荷ではございません
フリーダイヤルへご連絡ください

骨董／絵画／掛け軸／和装小物／ゴルフ／バイオリン／ギター／スマホ／タブレット／工具／喫煙具（Zippo）他、ご相談ください



取り扱いできません

送らないようご協力ください

タバコ、カビ臭／付属品の欠品／著しい汚れ、破損

ISBNコードがない本・週刊誌・大型家電・パソコン・プリンター・衣類・着物・家具

コバトンリサイクル募金の流れ

① 申込み



5点から
送料無料

宅配業者が伝票をもって
集荷に伺います。

② 査定・換金



きしゃぽんからも1件につき
100円が寄附されます。

③ 寄附

埼玉県NPO基金
埼玉県特定非営利活動促進基金

お名前を添えて
寄附します。

電話又はWEB（インターネット）からお申込みください（嵯峨野株式会社受付）

● 電話番号：0120-29-7000（9時～18時）

● WEBから：<http://kishapon.com/saitamaken-npo/>

御寄附の活用～埼玉県NPO活動促進助成事業～

NPO活動促進助成事業は、SDGsの視点を持ち、NPO法人ならではの特性を生かして埼玉県内で実施する活動に対して助成するものです。

本助成事業は、NPO活動の持続的な発展を図るために県民や企業等の団体からの寄附金を積み立てている埼玉県NPO基金を財源としています。



▲活用実績（県HP）



市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う事業に対して助成をしています。今年度の助成事業について、一部御紹介します。

第11回まちづくり講演会(越谷市コミュニティ推進協議会)

越谷市コミュニティ推進協議会は、市民のコミュニティ活動の推進を図ることを目的に、平成3年に設立され、様々な事業に取り組んでいます。

その中の一つで、今後のまちづくりを推進するための一助となることを目的に実施している「第11回まちづくり講演会」を、12月14日(土)に開催しました。

今年度は、「天気の人から見た 異常気象と気象災害への備え」をテーマに、気象予報士の天達武史さんにご講演いただき、天達さんが、気象予報士として皆さんに知っておいていただきたいことをお話しいただきました。

「災害への備え」は全ての皆さんにとって大切なテーマとなります。今回の講演会をきっかけに、地域活動や防災に対する意識を深め、今後も安全・安心な地区のまちづくりの推進に取り組んでいきます。



▲第11回まちづくり講演会 開会式の様子



▲講師の天達 武史さん

花いっぱい運動で美しいまちづくり事業(吉見町コミュニティづくり推進協議会)

吉見町コミュニティづくり推進協議会は、町内の26団体から選出された委員により構成されており、地域住民の「自治と連帯」の意識を高め、豊かでふれあいのある人間生活の確立を図るため、コミュニティづくりを広く町民運動として推進することを目的としています。

活動の一つとして、花いっぱい運動を実施しています。住民の目に触れやすい集会所や公園、歩道脇に植える花苗を有志の団体に年3回無料配付しています。

令和6年度の6月には40団体にドーム菊、10月に44団体にパンジーを合計約3,100株配付しました。

また、東松山地区防犯協会と連携して、花苗の管理をしながら地域の安全を見守る「ながら見守り活動」の推進もしています。

花いっぱい運動を通して、地域コミュニティの推進を図るとともに、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。



▲植栽の様子

日高市手づくり凧揚げ大会(日高市コミュニティ協議会)

日高市コミュニティ協議会では、人と人とのふれあいを深めるとともに、青少年の健全育成やふるさと意識の醸成を図ることを目的に、毎年2月に手づくり凧揚げ大会を開催しています。

第38回大会当日は晴天に恵まれ、子どもから大人まで多くの参加者が個性の光る手づくりの凧を持ち寄り、自慢の凧を大空高く舞い上げました。会場では、団体の皆さんのご協力で大凧の展示、スポーツカイトのデモンストレーションも実施しました。参加者同士が交流し、会場である巾着田の豊かな自然を満喫する姿が見られました。

また、凧揚げ大会の開催にあたり、小学生対象の凧づくり教室も開催しました。コミュニティ協議会役員が講師を務め、合計231人の子どもたちが思い思いの凧を作り上げ、元気いっぱいに凧揚げを楽しみました。

今後もこのようなイベントを通して、コミュニティの活性化に取り組んでまいります。



▲凧の審査の様子



▲凧揚げ大会の様子



▲凧づくり教室



株式会社エフエムナックファイブ

FM NACK5は全国29番目のFM局として1988年10月に開局し、埼玉県内では初のラジオ局となりました。局名の「NACK5（ナックファイブ）」は周波数79.5MHzに由来します。98年6月に送信所を飯盛峠（ときがわ町）に移転したことにより、聴取エリアは関東一円に広がりました。

音楽、スポーツ、エンターテインメントを番組編成の3本柱にしつつも、開局以来一貫して地元埼玉に軸足を置いた放送を目指しています。地元埼玉の話題や魅力などの発信を通じて、地域貢献に努めてきました。

ドライバーに安全運転を呼びかける「セーフティドライブキャンペーン」や、がん検診や健康診断を積極的に受診してもらう「ケンシン推進プロジェクト」も展開しています。

ラジオ放送は今年、100年を迎えます。今後も地元埼玉に親しまれる放送局として、楽しい番組づくり、地域や社会の発展に尽力してまいります。



▲FM NACK5にて啓発放送



▲ケンシン推進プロジェクト ロゴ

埼玉県高等学校PTA連合会

本連合会は、主に公立高等学校162単位PTAが加盟する連合会です。

各校PTAでは、組織のスリム化・業務効率化を推進しながら、生徒たちがより有意義且つ安全に教育を受けられる環境整備のために、保護者と教職員の連携を深めています。

高校での教育活動は、これまでより格段に主体性が求められます。進路実現、学校行事、部活動や地域活動など、価値観が大きく広がる高校時代に多くの大人が関わり、高校生の人格形成に寄与することもPTA活動の醍醐味です。

本連合会は、事例発表や研修会を通じて各校PTA活動の活性化を支援するとともに、全国高P連等と連携し、生徒のケガ、賠償責任など万一の事故の際の補償制度を提供しています。



▲関東地区千葉大会 開会式



▲研修会でのPTA取組発表

恩賜財団母子愛育会埼玉県支部

母子愛育会埼玉県支部は昭和19年に設立されました。秋篠宮皇嗣妃殿下紀子様を総裁とし、27市町で3,219人の班員が地域の特性を生かし活動しています。七夕・クリスマス会・ひなまつりなど季節の行事で親子に楽しんでもらったり、三世代交流・検診のお手伝いなど保健センターと協力しながら、高齢者も含めた地域の健康づくりを担い、子育て支援事業を実践しています。

また、実技研修会では身近な物で「おもちゃ作り」を学び、地元で教え合い、年に1度の“愛育のつどい”では10年以上活躍する班員を表彰し士気を高めています。

埼玉県健康づくり事業団の結核予防普及事業では全市町で協力しパンフレットの配布、募金活動に貢献しています。令和5年1月には、総裁がときがわ町をご視察され班員は大きな力をいただきました。

今後も皆様に協力をいただきながら愛育班活動を継続していきたいと思ひます。



▲蕨市「ママといっしょに公民館デビュー」の取り組み



▲実技研修会でおもちゃ作りを学ぶ班員さん